



# ヒートアイランド対策ガイドライン

## 概要版



ヒートアイランド対策に関する情報は以下のホームページでご覧いただけます。  
「大阪府のヒートアイランド対策」  
URL [http://www.epcc.pref.osaka.jp/ondanka/heat\\_i/index.html](http://www.epcc.pref.osaka.jp/ondanka/heat_i/index.html)



### ● ガイドラインの趣旨

大阪は全国主要都市の中で、真夏日数や熱帯夜数が最も多く、ヒートアイランド現象が特に顕著となっています。この問題に対して、大阪府では「大阪府ヒートアイランド対策推進計画」を平成16年6月に策定し、同計画に基づく様々なヒートアイランド対策の展開を図ってきました。しかしながら、ヒートアイランド対策においては、府民、事業者、行政など都市活動に関わる全ての主体の参画が不可欠であり、地域の特性を十分に踏まえた対策の展開を図っていくことが必要です。

このガイドラインは、大阪府が先に作成した熱環境（熱負荷特性）マップに示される地域の特性ごとに、最も適したヒートアイランド対策をとりまとめ、広く活用していただくため作成しました。

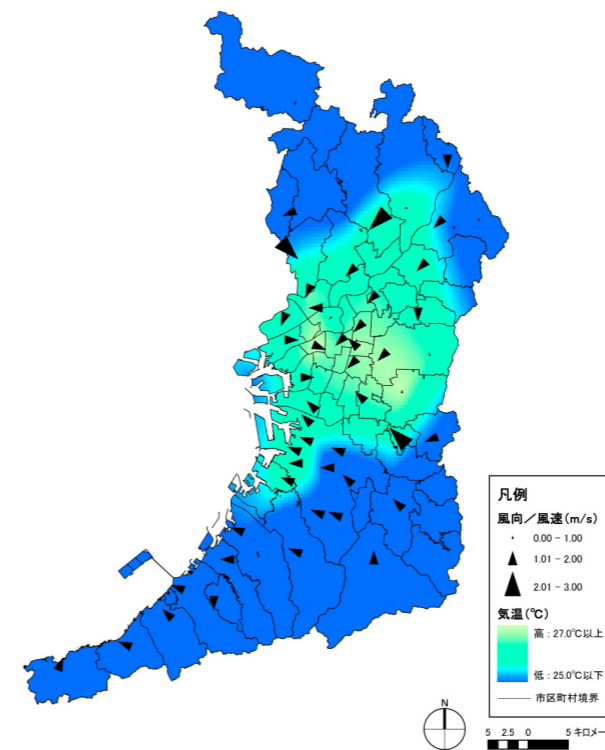
### ● ヒートアイランド現象の実態

#### ● ヒートアイランド現象とは

ヒートアイランド現象とは、大都市圏における都市化の進展に伴う、建築物やコンクリート、アスファルト舗装等による地表面被覆の人工化や、自動車の走行、家庭やオフィスでの空調、工場の生産活動等の都市活動に伴い発生する人工排熱の増加等により、地表面の熱収支が変化し、都市の中心部の気温が郊外に比べて島状に高くなる現象を言います。

風向・風速・気温図

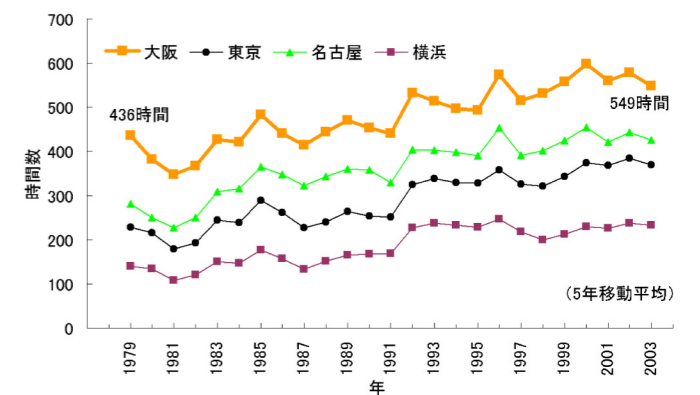
大阪市域、北大阪地域、東大阪地域など都市化が進んだ地域を中心とした範囲では、昼間に上昇した気温が早朝になってもあまり低下せず、ヒートアイランド（熱の島）現象が顕著となっています。



備考) 気象観測データから推計した平成17年7月・8月の午前5時の期間平均値

気温30℃以上の時間数の経年変化

気温30℃以上の時間数と熱帯夜数は、全国主要都市で増加傾向にあります。大阪では、いずれの値も最も多くなっています。



熱帯夜数の経年変化

